

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2017-2002-1	利用 形態	内部研究	利用する 試料・情報	対象:地域住民コホート調査 地域支援センター型18K対象者 試料:なし 情報:すべての情報		
主たる研究機関	東北メディカル・メガバンク機構			分担 研究機関	-		
研究題目	日本食コンポーネントが動脈硬化指標に与える影響-オミックス網羅的解析を用いた検証			研究期間	承認日~2023年3月31日		
実施責任者	寶澤 篤	所属	東北メディカル・メガバンク機構			職位	教授
研究目的と意義	<p>1. 日本食コンポーネントと頸動脈内膜中膜肥厚の関連を検証</p> <p>2. 日本食コンポーネントと動脈硬化危険因子(家庭血圧・中心血圧・総コレステロール・HDLコレステロール・血糖・ヘモグロビンA1c)との関連を検証</p> <p>3. 上記1.2. の項目の関連を修飾する代謝物質をメタボローム解析から同定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「日本食コンポーネント」と動脈硬化の関連を明らかにできる点</li> <li>●その関連を説明する危険因子・代謝物質を明らかにできる点</li> </ul> <p>特に関連を修飾する代謝物質の同定はこれまで明らかになっていなかった日本食と動脈硬化性疾患の関連を解明する糸口となることが期待され、循環器疾患予防に焦点を当てた創薬研究にもつなげることが可能だと考えられる。</p>						
研究計画概要	本研究は、日本食コンポーネントと動脈硬化の中間指標である頸動脈内膜中膜肥厚などとの関連を調査すると同時に、メタボローム解析を用いて日本食コンポーネントと動脈硬化のパスウェイにある代謝物質を網羅的に探索する。						
期待される成果	「日本食コンポーネント」と動脈硬化の関連を明らかにできる。 その関連を説明する危険因子・代謝物質を明らかにできる。						
これまでの倫理 審査等の経過	東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認済み「地域住民コホート調査」の一環である。						
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	人を対象とする生命科学・医学系研究倫理指針を遵守するとともに、試料・情報の利用にあたっては、ToMMoセキュリティーポリシーを遵守する。						
その他特記事項	東北メディカル・メガバンク事業						
* 公開日	令和3年7月15日						